証券市場論　問題集

問題 1　下に示す日本経済新聞の切り抜きから、設問(1)～(5)で指示される値を単位も含めて抜き出し、言葉の意味を書きなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

(1)日経平均株価、(2)東証一部売買代金、(3)東証一部時価総額、(4) 東証一部全銘柄 PER（予想)、(5) 日経平均採用銘柄配当利回り単純平均（予想）

解答例

(1)10034.65 ドル、日経新聞の計算した・・・・・

(2)xxxx、・・・・・・

図表　日本経済新聞の切り抜き

7日 東証1部 市場体温計

日経平均株価(225種)　15276円24銭(－102円75銭)
騰落率＝－0.668%

東証株価指数(TOPIX)　1226.09　(－8.11)
騰落率＝－0.657%

売買代金	1857760百万円	(－372717百万円)
売買高	183293万株	(－38385万株)
売買単価	1013.5円	
売買高上位10銘柄の占有率	23.8%	
上場銘柄数 1967	値上がり 484	
売買成立 1967	値下がり 1337	変わらず 146
新値株(年初来)	高値 43	安値 110
騰落レシオ(25日移動平均)	90.15%	
時価総額	4675996億円	(－30847億円)
普通株式数（百万株） 405601	1株当たり時価（円）	1152.85

株式市場の投資指標

（ＰＥＲと配当利回りの太字は予想、カッコ内は前期基準、ＰＢＲは四半期末基準、連結ベース）

	ＰＥＲ（倍）	ＰＢＲ（倍）	配当利回り（%） 単純平均	加重平均
日経平均採用銘柄	12.83(13.82)	1.05	1.98(1.97)	
ＪＰＸ日経400採用銘柄	13.36(13.41)	1.16	1.80(1.81)	
東証１部全銘柄	13.77(14.55)	1.06	2.01(2.01)	2.33(2.34)
東証２部全銘柄	12.85(15.50)	0.82	2.06(2.11)	1.76(1.75)
ジャスダック全銘柄	15.31(22.56)	1.13	1.99(1.99)	
株式益回り（東証１部全銘柄）			予想	7.26%
			前期基準	6.86%

問題 2　下に示す日本経済新聞の切り抜きから、設問(1)～(5)で指示される値を抜き出しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

(1)2010 年 6 月限月の大証の日経平均先物の終値

(2)2010 年 3 月限月の大証の日経平均先物の出来高

(3)2010 年 2 月限月で行使価格 10250 円の大証の日経平均コール・オプションの終値

(4)2010 年 1 月限月で行使価格 10250 円の大証の日経平均プット・オプションの終値

(5)2009 年 12 月限月で行使価格 10250 円の大証の日経平均コール・オプションの売買高

解答例

(1)100150

問題3　以下の問題の計算過程、計算結果及び結果の単位を別紙に記入しなさい。

(1)株価1000円、前期実績1株当り株主利益が50円、今期予想1株当り株主利益が100円である企業の株価収益率(PER)。
(2)株価1000円、前期実績1株当り純資産が50円である企業の株価純資産倍率(PBR)。
(3)株価1000円、前期実績1株当り配当金が10円、今期予想1株当り配当金が20円である企業の予想配当利回り。
(4)額面価格100円、クーポン・レート20%、残存期間4年、購入価格80円である債券の利回り（単利、小数点一桁まで以下四捨五入）。
(5)額面価格100円、クーポン・レート0%（割引債）、残存期間2年、購入価格64円である債券の利回り（複利ベース、小数点一桁まで以下四捨五入）。

問題4　配当金および割引率について下記の値が予想される銘柄について、配当還元モデルを用いて株価を計算せよ。

配当金：1年後1.1円、2年後1.21円、3年後以降については毎年9%で定率成長
割引率：各年とも10%

問題5　額面価格100円、クーポン・レート1.05%、割引率5%の利付永久債の価格を求めよ。なお、最初の利払いは1年後に行われ、年1回毎とする。

問題6　将来において、不況（確率30%）-10%、普通（確率40%）0%、好況（確率30%）10%という投資収益率が予想される株式について、以下の項目の計算過程、計算結果及び結果の単位を別紙に記入しなさい。

(1)期待投資収益率
(2)リスク

問題7　以下の文章を読んで(1)～(8)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

証券市場のプレーヤーとしては、資金を必要とする資金不足主体である(1)が挙げられる。具体的には、(2)、企業部門がそれにあたることが多い。(1)に資金を供給するのが、(3)である。具体的な(3)の主体としては、(4)が挙げられる。また、証券市場を円滑に運営するために、(5)、(6)、(7)などの(8)が存在する。ただし、各運営者の証券市場にかかわる目的は、それぞれ異なっている。(5)の起源は顧客の注文を受けて取引を行う仲買人とされる。(6)は、仲買人同士の取引を行う施設として設立された。また、(7)は、証券市場の公正性を確保するなどの目的を持った公的機関である。

[語群]証券取引所　資金運用者　市場運営者　家計部門　監督機関　資金調達者　政府・公共

部門　証券会社

解答例
(1)証券取引所、(2)xxx、・・・・・・

問題 8　以下の文章を読んで(1)～(8)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

企業は、その事業資金を獲得するために、例えば(1)、(2)、(3)のような方法によって(4)を行う。なお、(1)、(2)の場合、債権者に対して、(5)を支払わなければならない。一方、(3)の場合、(6)を通じて収益が分配される。なお、(3)に応じた投資家を株主というが、株主の権利として(7)と(8)が与えられる。

[語群]配当金　利子・利息　共益権　資金調達　株式発行　銀行借入　社債発行　自益権

解答例
(1)配当金、(2)xxx、・・・・・・

問題 9　以下の文章を読んで(1)～(6)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

証券の流通市場とは、既に(1)によって発行された証券を(2)間で取引を行うための市場である。流通市場の形態としては、(3)で取引を成立させるものと、店頭取引という(4)が相手方となって取引を成立させるものがある。(5)の取引については、前者が一般的である。一方、(6)の取引については、そのほとんどが後者で行われている。

[語群]株式　投資家　証券取引所　発行体　債券　証券会社

解答例
(1)株式、(2)xxx、・・・・・・

問題 10 以下の文章を読んで(1)～(5)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

株式を所持する株主に与えられる権利と義務は、(1)によって定められている。義務については、株主が有する株式の(2)を限度とするとしている。つまり、株主が負う損失は、最大で株式へ投資した金額に限定されるということである。権利については、(3)と(4)の 2 種類に大きく分けられる。また、いくつかの例外が存在しているものの基本的に株式の取引について(5)の原則が存在する。これも権利の１つとして数えられよう。

[語群]引受価額、自益権、会社法、株式譲渡自由、共益権

解答例
(1)引受価額、(2)xxx、・・・・・・

問題 11 以下の文章を読んで(1)～(5)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

株主へ利益がもたらされる具体的な仕組みは以下の通りである。株式会社は、(1)を販売することで(2)を得る。一方、(2)を獲得するためにかかった(3)や賃金、支払利息などの(4)が存在する。株主への利益は売上高から費用および(5)を全て差し引いた残りの部分である。

[語群]原材料費、税金、財・サービス、費用、売上高

解答例
(1)原材料費、(2)xxx、・・・・・・

問題 12 以下の文章を読んで(1)～(7)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

株主に付与される共益権の中で最も重要なものは議決権であると言っても過言では無い。議決権とは、(1)において提案された議案に対して決議を行う権利である。なお、(1)で決議を行わなければならない議案としては、剰余金の(2)、(3)等の選解任、(4)などがある。(2)の実施は、(5)という自益権の 1 つに数えられている。また、(3)とは、一般的に株主の(6)的な位置づけである。(4)とは、その株式会社を存続させず消滅させることで、株主に(7)が発生する。

[語群]代理人　配当　残余財産分配請求権　利益配当請求権　株主総会　解散　取締役

解答例
(1)代理人、(2)xxx、・・・・・・

問題 13 以下の文章を読んで(1)～(8)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

債券とは、投資家と発行体間の(1)を明確化させた(2)的な性格を持つ有価証券である。資金の貸借関係からみれば、債券の(3)が債務者であり、(4)が債権者となる。ただし、他の貸借関係と異なるのは、多数の投資家から同時に(5)で資金調達をできるような工夫がなされていることである。つまり、債券は発行体が借り入れようとする資金が多数に(6)されているために比較的(7)での投資が可能となっており、制度的に第三者の(8)が容易できるなど、様々なニーズを持つ投資家に対応出来るようになっている。

[語群]投資家　借用書　少額　発行体　分割　債権債務関係　転売　同一の発行条件

解答例
(1)投資家、(2)xxx、・・・・・・

問題 14 以下の文章を読んで(1)～(6)に入るべき適当なものを記入しなさい。なお、解答は下記の解答例

を参考にして、別紙に記入すること。

債券は、それを発行した主体の違いや金利の支払い方法の違い等によって分類される。発行した主体の違いによるものとしては、中央政府が発行した(1)、地方政府が発行した(2)、民間企業が発行した(3)などに分類される。金利の支払い方法の違いによるものとしては、利率が発行時から固定されている(4)、発行時に定められたルールに従って利率が変化する(5)、利子分が割り引かれた発行価格で売り出される(6)等が存在する。

解答例
(1)外国債、(2)xxx、・・・・・・

問題 15 以下の文章を読んで(1)～(7)に入るべき適当なものを記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

格付けとは、(1)、財務上の特約、(2)などを踏まえて財務および営業状況を分析することによって、(3)の(4)を評価したものである。評価に関する具体的な公表の方法としては、その評価を端的に表す定められた(5)およびその評価に至った理由を付した(6)がある。また、それら評価については、対象となった債券が(7)されるまで、定期的に見直しが行われる。

[語群] レポート　元利金　担保の有無　償還　支払い能力　記号　優先劣後順位

解答例
(1)レポート、(2)xxx、・・・・・・

問題 16 以下の文章を読んで(1)～(5)に入るべき適当なものを語群から選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

投資信託とは、多数の投資家から出資および拠出された資金をプールし、資産運用の(1)がそれを利用して株式や債券等の(2)および(3)などに投資を行い、その(4)に応じて投資家に(5)するという仕組みを持つ金融商品のことである。

[語群]専門家　有価証券　不動産　運用成果　分配

解答例
(1)専門家、(2)xxx、・・・・・・

問題 17 以下の文章を読んで(1)～(5)に入るべき適当なものを語群から選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

投資信託の仕組みについては、(1)と(2)に大きく分類される。前者は、運用資金の委託者である運用会社と受託者（信託銀行）との間で締結される信託契約から生じた受益権を細分化した(3)を投資家が購入するという形式である。後者は、設立された(4)が(5)を発行してそれを投資家が購入するという形式となっている。

[語群]投資法人　会社型　受益証券　投資口　契約型

解答例
(1)投資法人、(2)xxx、・・・・・・

問題 18 以下の文章を読んで(1)～(5)に入るべき適当なものを語群から選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

(1)と(2)であるが、前者が不特定多数の投資家に対して販売することを目的としたもの、後者が機関投資家やごく少数（50　人未満）の投資家のみに対して販売することを目的としたものである。なお、(2)は(3)に対する義務や運用に関する法的制約が緩和される等の特徴がある。次に、(4)と(5)であるが、前者が株式に投資できる旨を信託約款に記載されているもの、後者がそうでないものである。

[語群]情報開示　公社債投資信託　私募投資信託　株式投資信託　公募投資信託

解答例
(1)情報開示、(2)xxx、・・・・・・

問題 19 以下の文章を読んで(1)～(5)に入るべき適当なものを語群から選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

派生証券とは、あらかじめ定められた商品の価格などの(1)や(2)に基づいて価格が決定される金融商品である。参照数値としては、株価指数や(3)、金利水準などが用いられる。また、事象については、天候や企業倒産等が挙げられる。つまり、それら参照数値の変化や事象の発生があらかじめ定められた派生証券の(4)を通じてその価格へと変換されるといったものである。なお、派生証券の法的な定義については、(5)において定められている。

[語群]契約内容　参照数値　債券価格　金融商品取引法　事象の発生

解答例
(1)契約内容、(2)xxx、・・・・・・

問題 21 以下の文章を読んで(1)～(8)に入るべき適当なものを選んで記入しなさい。なお、解答は下記の解答例を参考にして、別紙に記入すること。

証券市場では証券取引が公正かつ円滑に行われることを目的として様々な規制が存在している。これらの規制は、(1)などの法律に基づくもの、金融庁などの定めた(2)、(3)や(4)が定めた(5)に大別される。なお、(3)は主に上場企業や取引参加者に関わるものを定めている。(4)は協会員に対する規制の制定および実施を行っている。

[語群]自主規制　証券取引所　金融商品取引法　証券業協会　公的規制

解答例
(1)自主規制、(2)xxx、・・・・・・

問題 22 以下の問題について別紙に論述しなさい。

(1)証券とはなにか。「将来」、「利益」、「法的」の 3 つの単語を利用して述べよ。

(2)証券市場とはなにか。「取引」、「円滑」、「制度」の 3 つの単語を利用して述べよ。

問題 23 以下の問題について別紙に論述しなさい。

(1)発行市場とはなにか。

(2)流通市場とはなにか。

問題 24 株主に与えられる権利である自益権、共益権の中から具体的なものを 3 つ挙げ、別紙に記入しなさい。

問題 25 以下の問題について別紙に論述しなさい。

(1)コーポレート・ガバナンスとはなにか。「経営責任」、「受託責任」、「遂行体制」の 3 つの単語を利用して述べよ。

(2) コーポレート・ガバナンスを実行するための考え方を 2 つ挙げ、それぞれの具体的手段について記述せよ。

問題 26 株価や債券価格を評価する場合に用いられる割引率を構成する 2 つの要素の名称を記述し、それぞれの内容についても簡単に説明せよ。

問題 27 以下の問題について別紙に論述しなさい。

(1)債券発行を行うに際して発行体と投資家間で定める必要のある条件について 3 種類挙げて、それぞれについて説明しなさい。

(2)株式と債券における流通市場の仕組みの違いについて述べよ。

問題 28 経済学から見た投資信託の意義について 3 点挙げ、別紙に記入しなさい。

問題 29 以下の投資理論で用いられる専門用語について説明しなさい。

(1)リスク

(2)ポートフォリオのリスク分散効果

問題 30 契約者間におけるキャッシュ・フローの発生についての取り決めが異なる 3 種類の派生証券の名称を記述せよ。

問題 32 スワップ取引について、その名称を 3 種類列挙し（xx スワップ、yy スワップ、zz スワップ)、それぞれの内容について簡単に説明せよ。

問題 33 証券会社の本来業務を 4 つ挙げ、別紙に記入しなさい。